

湯沢CS通信

令和7年12月5日 第88号

(発行) 湯沢市教育委員会

学校教育課 CS担当

「みんなで深めよう」

コミュニティ・スクール

令和七年もいよいよ師走、十二月に入りました。今月は多くの学校で学校運営協議会の開催が予定されており、南教育事務所社会教育班と学校教育課指導班も訪問させていただきました。さて、88号ではCS研修会の研修Ⅱについて紹介します。

研修Ⅱ 熟議

参加者 240名(教職員、学校運営協議会

委員、集落支援員、保護者)

グループ 60グループ(4人組)

※マナーの確認、準備体操

熟議Ⅰ 自分の思いを語ろう!相手の思いを聞こう!

テーマ「湯沢市の子どもたちに、どのような子どもに育ってほしいか」

熟議Ⅱ たくさんの意見にふれ、思いを広げよう!

テーマ「湯沢市の子どもたちに、どのような子どもに育ってほしいか」

熟議Ⅲ 思いを共有し、明日から何ができるか考えよう!

テーマ「明日からあなたができることは何か」



アンケートから

- ・ 立場の違う方の話を聞くことができてよかった。
- ・ 地域と学校のつながりがどんどん強くなってきたこととがすばらしいと思った。
- ・ 明日から自分にできることをしながら、子どもたちの成長のお手伝いをしたい。
- ・ 学校現場と地域の方が関わるきっかけとして、もっと地域の方の参加を多くしたい。

南教育事務所の時田敬先生から熟議の感想を伺いました。

熟議のマナーの確認や、アイスブレイクに始まり、出席者に話せる雰囲気生まれ、「湯沢市教育大綱」の説明を取り入れることにより、話すべき方向性・必要感をもって参加できていた。参加者の大変多い熟議であったが、様々な立場の方にいかに同じ方向性を向かせるかという熟議の本質を理解させるための工夫が多く見られた。

熟議では、テーマ1で「どのような子どもに育ってほしいか」について異なる立場の参加者同士のビジョンや情報を共有し、テーマ2で「自分の立場で明日からできること」を各々が自己決定し、自分からできることを一步一步進めていくきっかけになった。

全体を通して、和やかな雰囲気の中で、湯沢市の子どもたちのためにできることを真剣に話し合っていた。熟議を通して協働することの大切さを実感できたことで、さらに学校づくりや地域づくりに大きく寄与していくことを期待したい。

熟議は、いろいろな立場の人が
テーマについて自分の思いを話し、
共通のテーマに向かって自分に何
ができるかを考えることです。熟
議を通して、教職員と地域の方と
の意思疎通が図られ、学校と地域
の「協働活動」につながることに
期待されます。

参加者の皆様、熱心にお話しし
ただき、ありがとうございました。

